

平成 30 年度 第 3 回嘉麻市文化財保護審議会議事録（要点筆記）

1. 審議会等の名称「平成 30 年度 第 3 回 嘉麻市文化財保護審議会」
2. 開催日時：平成 31 年 3 月 18 日（木） 13 時 30 分～
3. 開催場所：嘉麻市役所 嘉穂庁舎 第 1 会議室
4. 公開又は非公開の別：公開
5. 出席者
 - (1)委員：石井春美、石瀧豊美、小林知美、辻田淳一郎、豊福英之、山口信枝、竹川克幸
 - (2)執行機関：教育長：木本寛昭、生涯学習課長：長岡和広、生涯学習課長補佐：上野智裕
文化財係長：松浦宇哲、文化財係：青山英子
7. 傍聴人数：0 人
8. 次第
 - 教育長あいさつ
 - 議事・報告
 - (1)平成 30 年度事業報告について（報告）
—事務局説明—
 - ①平成 30 年度文化財保護審議会開催日数：3 回
 - ・課題：文化財保存活用基本計画の審議に取り掛かれていない
 - ②指定文化財の維持管理：例年通り
 - ③文化財調査：事前審査、嘉穂地区遺跡遺物の再整理及び古文書調査整理
 - ④未指定文化財等の調査：山野地区の現況調査
 - ⑤文化財ブックレットの作成：嘉穂地区馬見地域の遺跡を取り扱った子ども向けの小冊子『巨大集落の誕生』を 3000 部作製
 - ⑥教育普及事業：沖出古墳の公開、「いのちの花」原画展、「語り伝える戦争の話」朗読音楽劇「青い目の人形」（熊ヶ畑小・上山田小の生徒を対象）
 - ・課題：広報周知、参加者の固定化。
 - ⑦学習支援事業：宮野地区公民館活動支援ほか
 - ・課題：平和祈念館案内説明依頼は増加しているが、筑豊地域の利用が少ない。
 - ⑧施設の維持管理等
 - ・稲築文化ふるさと伝承館：山野の楽の当日、保存会との連携をして楽の歴史を説明。
 - ・嘉穂ふるさと交流館：主に市内小学生が昔のくらしの授業の一環として利用
 - ・碓井平和祈念館・郷土館：郷土館に比べ祈念館の利用者が少ない。

—質問・意見—

嘉穂ふるさと交流館の資料台帳整備の現状について

—事務局説明—

主体となる埋蔵文化財については、平成 24 年度から再整理を実施しており、随時台帳を作成している。民具・農機具類の仕分け作業は、一通り終了したが、台帳はまだできていない。現在は、稲築ふるさと資料室収蔵資料の仕分け、移管作業を先行している。
 - (2)山野地区フィールドワーク：山野地区の指定・未指定文化財等の見学・意見交換